

## 送辞

暖かい日差しが降り注ぎ、春がやってきました。この良き日に、3年生の皆さんがご卒業を迎えられたことを、在校生一同、心からお祝い申し上げます。

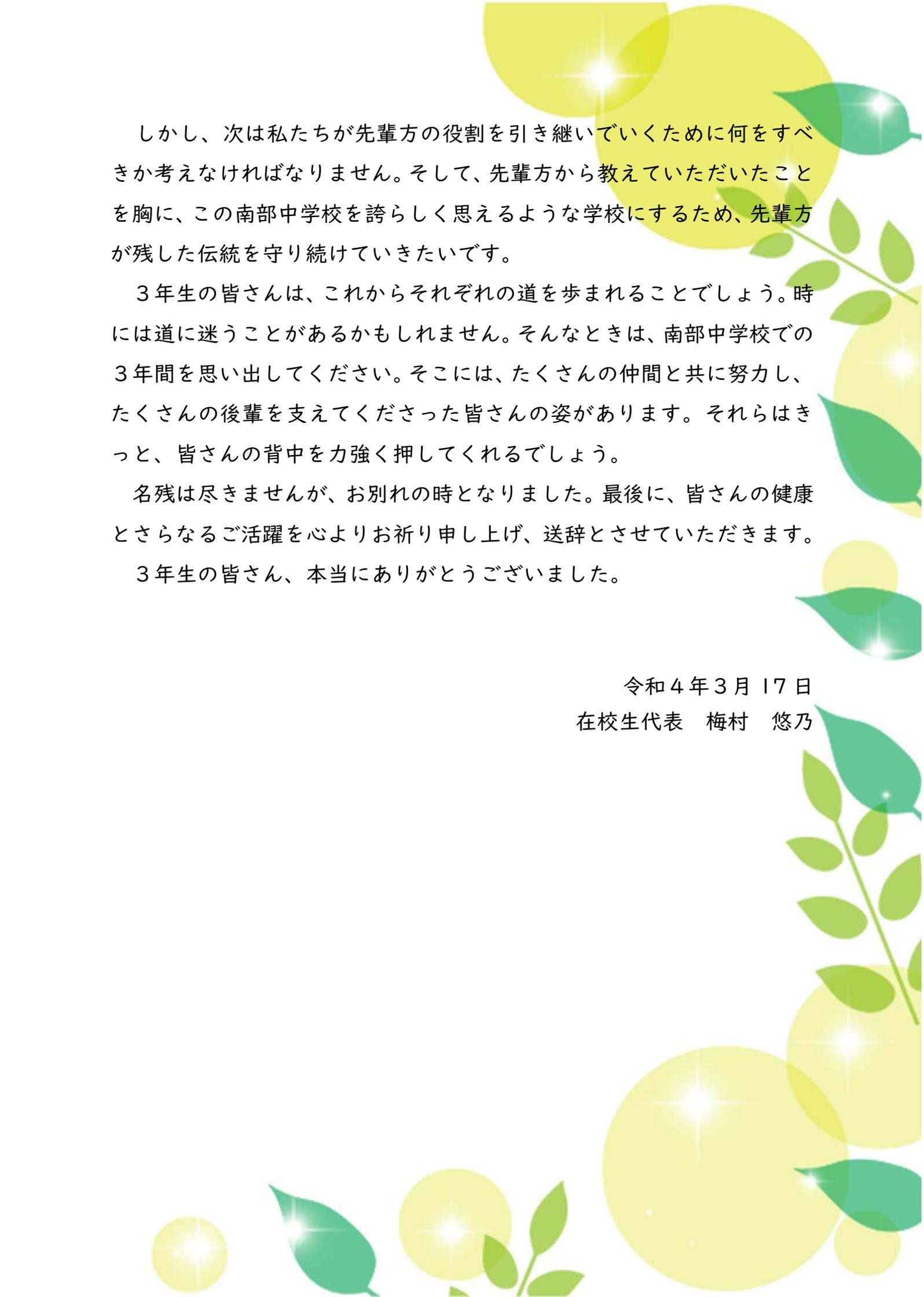
3年生の皆さんは、いつも私たちを導き、お手本となってくださいました。その姿はいつも頼もしく、輝いていました。

部活動では先輩方から、どんなことにも挑戦すること、努力し続けることの大切さを学びました。部活動での先輩方は新しいことに積極的に挑戦し、一生懸命に練習していました。その姿を見て、「私も先輩のようになりたい。」と強く思いました。

また、躍友祭では全員で声を掛け合い、一人一人が熱心に練習する姿から、熱意や闘志を強く感じました。特に記憶に残っているのが大縄跳びです。練習の時から先輩方は、縄に引っ掛かっても互いに励まし合い、何度も何度も挑戦し続けていました。そして本番。跳び終わった後のやり切った喜びに包まれ、キラキラと輝く先輩方の姿は今も鮮明に目に浮かびます。

そして緑友祭。私たちのクラスは、パートごとの音合わせや声に強弱をつけることができず、クラスをまとめることにも苦勞していました。そんな時に先輩方との交換合唱がありました。先輩方の歌声は、聞くだけで引き込まれてしまうほど素晴らしく、クラス全員の気持ちが一つになった合唱でした。先輩方の歌う姿勢を通して、合唱を聴く人のことを思って歌うことの大切さ、仲間と協力し一つの歌を作り出す素晴らしさに気づくことができました。

こうして振り返ると、改めて先輩方の偉大さを実感します。そんな先輩方が今日、南部中学校を旅立たれることをとても寂しく思います。



しかし、次は私たちが先輩方の役割を引き継いでいくために何をすべきか考えなければなりません。そして、先輩方から教えていただいたことを胸に、この南部中学校を誇らしく思えるような学校にするため、先輩方が残した伝統を守り続けていきたいです。

3年生の皆さんは、これからそれぞれの道を歩まれることでしょう。時には道に迷うことがあるかもしれません。そんなときは、南部中学校での3年間の思い出してください。そこには、たくさんの仲間と共に努力し、たくさんの後輩を支えてくださった皆さんの姿があります。それらはきっと、皆さんの背中を力強く押してくれるでしょう。

名残は尽きませんが、お別れの時となりました。最後に、皆さんの健康とさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

3年生の皆さん、本当にありがとうございました。

令和4年3月17日  
在校生代表 梅村 悠乃